

第6回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

○日 時：平成19年1月23日（火）15時00分～16時40分

○場 所：岡山大学本部棟6階第一会議室

○出席者：23/34

○欠席者：岡山大学（田中）、岡山学院大学（平林）、
川崎医科大学（辻岡・三宅）、川崎医療福祉大学（伊地知）、
吉備国際大学（村本・神岡）、倉敷芸術科学大学（妹尾）、
くらしき作陽大学（川口）、美作大学（松岡）、
岡山経済同友会（運営委員1名空席）

○陪席者：中国銀行（中島広報CSRセンター調査役）
山陽新聞社（白髭事業局局次長・加藤事業局部長）
岡山県（徳永生涯学習課総括主幹）

○議 事：

木村委員長（岡山理科大学副学長）から開会挨拶後、前回議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

○審議事項

1 平成19年度事業計画について

委員長の指名により、各事業部のリーダー等から、【資料1】に基づき平成19年度事業計画について以下のとおり説明があり、了承された。

＜大学教育事業部＞【資料1-1】

- ・単位互換について、平成19年度各大学からの提供科目は資料のとおりである。平成18年度の実績を踏まえ、予算計上しない。
- ・高大連携について、「大学コンソーシアム岡山合同入試説明会」を計画した。具体的な企画案については資料のとおりであり、110万円の予算を計上した。実施に向け15大学による拡大WGを計画している。
- ・eラーニングについて、各大学にご協力いただいたアンケート結果は資料のとおりである。平成19年度は実現可能性があるかどうかの準備期間と位置づけているが、可能であれば後期から実験的に遠隔授業を開始したい。また、前期中に各大学担当者を対象として、実績のある大学での見学会を実施したい。今年度は予算計上しない。

＜社会人教育事業部＞【資料1-2】

- ・平成18年度シティーカレッジの反省点の中で、①創設時から提唱されていた「吉備学・地域創生学」が組み入れられていない②同時期にスタートした「山陽新聞カレッジ」との差別化が図られていない③広報体制④開講場所が固定化されていない⑤受講料を徴収する体制 等を特に重視し、受講申込状況も踏まえて社会人教育事業部及び企画会議等で改善案を検討した。
- ・平成19年度は、前回委員会までに示した計画案から大きく変更し、資

料のとおり「山陽新聞カレッジ」と統合しての企画運営案を提案したい。

- ・提示した10講座のうち、担当希望講座を早急に事務局まで回答願いたい。社会人教育事業部で調整のうえ、追って科目・講師等につき照会させていただきます。

<産学官連携事業部>【資料1-3】

- ・「キャリア形成講座」は水曜夜間講座と木曜午後講座の2講座で計4コマ実施する。
- ・「ちゅうぎん金融知力講座」は18年度同様、前期に1コマ実施する。
- ・いずれの講座も「学生間の交流」を重視したい。
- ・「秘書検定2級取得講座」を1コマ（10回程度）エクステンション科目として実施する。平成19年度は外部講師により単位を付与しない予定であるが、20年度以降は大学の教員を講師に起用することも考える。
- ・高大連携キャリア教育及び学生交流関係については資料のとおりである。
- ・「まなびピア岡山2007」への出展について、コンソーシアムとしては産学官連携事業部が主体となり、産学連携及び学生参画により実施する。サブリーダーや協力者の増員を希望する。
- ・産学官連携事業部として150万円を予算計上した（「まなびピア岡山2007」関係予算は特別事業費として計上）。

2 事業部及び事務局体制について

委員長から以下のとおり説明があり、了承された。

- ・現時点では平成19年度も会長校である岡山大学に引き続き事務所を設置し、事務局をお願いする方針で予算案を提示しているが、次回委員会までに状況が変わる可能性もある。
- ・「ヒト」の問題に関しては大学コンソーシアム京都の事例等が大変参考になるのでご検討いただきたい（【資料2】）。

3 平成18年度決算見込（案）及び平成19年度予算（案）について

委員長の指名により、事務局から【資料3】に基づき説明があった。委員長から予算（案）については次回委員会までに状況が変わる可能性があり、次回あらためて提示する旨補足説明があり、了承された。

4 短大等の参画について

委員長の指名により、松畑副会長から以下のとおり提案があり、次回委員会で引き続き審議していくことが了承された。

- ・短大及び高専の加入について、先方の会議等で呼びかけをしているが一律に大学と同じ形で加入することについては抵抗感があるようである。
- ・コンソーシアムとしては特別会員として県内全ての短大等に加入してもらい、将来的に正会員となってもらいたいことが望ましい。
- ・特別会員であれば正会員とは異なり種々の制約はあるが、たとえば単位互換に参加してもらいたいこと（短大生が大学提供科目を受講）等も考えられるので、各大学に持ち帰りご検討いただきたい。

5 学生交流事業部について

委員長から、以下のとおり提案があり、各委員が大学へ持ち帰り検討することが了承された。

- ・学生交流企画及び学生のコンソーシアムへの参画について、当面は産学官連携事業部主体で行うが、学生交流・参画に関する新事業部の設立を前向きに検討したい。

○報告事項

1 「まなびピア岡山2007」について

鍋島委員（岡山県）から実施概要について説明があり、各大学個別の参加について要請があった。

※次回開催予定は平成19年2月（日時・場所未定）

以上